※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　物理基礎　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常の生活の中で「当たり前」だと感じている事象について、なぜそうなるのか？を考えていく内容になります。今まで自分が自然と身に付けている感覚が実際に正しいのかどうかを確認しながら授業を受けてください。学習内容の定着を図る為に演習プリントなどを活用しながら、授業を進めていきます。ノートやプリント、取り組み態度などあらゆる観点から評価を行うので毎回の授業を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連の中で、物体の運動や身近な物理現象などへの関心を高め、目的をもって観察・実験を行い、探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、自然科学的な見方や考え方を養う。

身近な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理な問題に直面したときに、主体的に自身の力で解決する方法を見出す能力と態度や、更にそれらを日常生活や社会の中で活用する能力と態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	物理現象を通して、科学的な考え方を身に付け、日常生活で体験する現象との関連を探り、科学的･倫理的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。	自然の事物や事象に進んで関わり、日常生活で経験する現象が物理学とどのように関連するかに関心を持ち、物理現象を積極的に理解しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物体の運動とエネルギー	直線運動の世界 力と運動の法則 力学的エネルギー	a: 力学に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を理解し、観察や実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 b: 力学に関する科学的な考え方を身に付け、日常生活で体験する現象との関連を探り、科学的・倫理的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。 c: 力学に関する事物や事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査
2学期	さまざまな物理現象とエネルギー	熱 波	a: 波動に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を理解し、観察や実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 b: 波動に関する科学的な考え方を身に付け、日常生活で体験する現象との関連を探り、科学的・倫理的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。 c: 波動に関する事物や事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査
3学期	さまざまな物理現象とエネルギー	電気 エネルギーとその利用	a: 電気及びエネルギーに関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を理解し、観察や実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 b: 電気及びエネルギーに関する科学的な考え方を身に付け、日常生活で体験する現象との関連を探り、科学的・倫理的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。 c: 電気及びエネルギーに関する事物や事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査	行動観察、演習、プリント、ノート、定期考査

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度